

仕様書

- 1 件名
- 遠隔操作カメラシステム等賃貸借（年間契約）
- 2 概要
- 捜査活動を効果的に行い、犯罪の発生を未然に防ぎ、発生した際は証拠資料となり得る画像を鮮明に記録できるシステムとする。

- 3 賃貸借物品及び規格等
- 遠隔操作カメラシステム一式 5 式
- 調達する機器等の納入、運用、保守、撤去等に伴って必然的に必要となる物品（付属品、接続部品、各種媒体、ケーブル等）については、本仕様書の有無に関わらず提供すること。
- カメラシステムの主機能となる映像通信についての通信費の一切を機器賃貸借料に含むものとする。

(1 式の内訳)

品 名	
1	遠隔操作カメラ
2	通信機器端末（送信側・受信側）
3	画像受信部（ノートパソコン）
4	解析ソフト
5	ソフトウェア

※ 別紙詳細仕様書参照

- 4 契約期間
- 契約締結日から令和 9 年 3 月 31 日まで
- 5 設置場所
- 三重県警察本部が指定する場所に設置
- 6 賃貸借料の請求
- 賃貸借料は、1 式当たりの月額賃貸借料とし月締め払いとする。
- 賃貸借料の請求は、乙は各月経過後、その月の賃貸借料を算出し、甲の確認を受けた後に請求するものとする。
- 7 保守体制
- (1) 甲の問い合わせに対し、乙は解決策のサポートを行うこと。
- (2) 賃貸借契約期間中に通常の使用により機器が故障した場合は、速やかに代替品と交換すること。
- (3) 賃貸借物品に障害が発生し、契約物品の交換を要する場合、甲の要請により乙は可能な限り速やかに代替対応を行うこと。対応に係る費用は乙の負担とする。
- (4) 賃貸借物品は、動産保険が付帯されたものとし、故障、破損、盗難等の事故が発生した場合に、甲による費用負担がないようにすること。ただし、甲の故意又は重大な過失による破損については保守の範囲外とする。
- (5) 契約年度途中に機器、ソフトのバージョンアップ等があった場合は、事前に乙に申請を行うものとし、常に最新の機器の賃貸借が可能であること。その際は、甲と協議した上で更新を行い、甲の追加費用の負担がないようにすること。

8 セキュリティ

- (1) カメラ側から画像受信部側への通信は、必ず暗号化されていること。
- (2) 返却後の画像受信部は、復元できない方法で画像データの消去作業を行うこと。
- (3) 画像受信部を破棄する場合は、ハードディスクを粉碎するなどの物理的破壊を行い、再利用できない措置を講ずること。
- (4) 本契約に関する事項をいかなる第三者に対しても開示又は漏洩しないこと。

9 その他

- (1) 本仕様書に定めのない事項については、甲及び乙で別途協議するものとする。
- (2) 契約業者は、契約を履行するに当たり、直接又は間接的に知り得た一切の情報について、甲が承諾した場合を除き、本件以外の用途に使用することを禁止する。また第三者への提供についても、甲が承諾した場合を除き禁止する。

※ 詳細仕様書

1 遠隔操作カメラ

項 目	仕 様
ズーム	光学 21 倍以上、デジタル 16 倍以上
有効画素数	210 万画素以上
画角	左右：ℓℓ 2.8 度～ℓℓ 58 度 以上 上下：ℓℓ 2.2 度～ℓℓ 44 度 以上
左右	0 度 ～ 350 度以上
上下	-30 度 ～ 90 度以上
回転速度	左右：最大 300 度／秒以上、上下：最大 100 度／秒以上
最低被写体照度	カラー 0.001 ℓℓ以下、白黒 0.0004 ℓℓ以下
焦点距離	4.0mm ～ 84.6mm 以上
絞り範囲	F1.6 ～ Close
シャッタースピード	1/30 ～ 1/4000 以上の範囲で切替可能
その他の機能・装備	<ul style="list-style-type: none"> カメラは、家庭用電源を利用し、容易に設置が可能であること。 カメラは、無線通信を介して接続された専用パソコンで視聴及び記録ができること。 屋外用防滴ケース（黒色又は暗色系）が必要な場合は、IP55 相当以上であること。 （カメラ本体に同程度の防滴防塵性能がある場合を除く。） カメラの設置場所に応じた固定用付属品（三脚、マグネット等）を付けること。 カメラをセキュリティワイヤーで固定するなどの盗難防止措置ができること。 色は、黒色又は暗色系 寸法 140（幅）× 150（奥行）× 180（高）mm 以下 （防滴ケース含む）

2 通信機器端末（送信側、受信側）

項 目	仕 様
通信方式	<ul style="list-style-type: none"> 閉域網接続 又は インターネット相互接続 上り下り LTE（常時接続）専用帯域回線 データ通信量無制限
有線 LAN 規格	1000Base-T × 2 ポート 以上
セキュリティ	<ul style="list-style-type: none"> IKEv1/IKEv2、AES(128/256)、SHA-2(256)に対応していること。 VPN 接続により、第三者からのアクセスを不可とすること。

	<ul style="list-style-type: none"> ・ VPN (IPsec) 又は L2TP/IPsec (電子政府推奨: AES256) 暗号化機能 ・ 通信不良が発生しても、自動で本体又は通信モジュールのみ再起動可能であること。 ・ 動作条件: 温度-20 ~+60℃以上、湿度 10 % ~ 90 %以上 ・ SIM 保護カバー有。保護クッション有。 ・ インターネット相互接続網は、公衆インターネット網とはファイアウォールを構築して区分し、カメラネットワークに対しては、専用ゲートウェイを介して VPN 接続すること。
--	--

3 画像受信部 (ノートパソコン)

項 目	仕 様
OS	Windows 10 IoT 以上
CPU	インテル Core i5 以上
メモリ	搭載容量 16GB 以上
モニタ	15.6 インチ以下
ストレージ	1TB 以上 (録画データ保存先)
機能	<ul style="list-style-type: none"> ・ カメラのパン、チルト、ズーム、ピント等の各種調整は、すべてネットワークに接続された専用パソコンにより遠隔操作が可能であること。撮影画像の確認、録画、再生が可能であること。 ・ ホイール付光学式のマウスを付属すること。 ・ 画像受信部 (ノートパソコン) 及び周辺機器のすべてを収納できる専用のケース等を付属すること。 ・ 内蔵記録装置は暗号化されていること。

4 解析ソフト

項 目	仕 様
再生・記録	<ul style="list-style-type: none"> ・ 撮影中の画像がネットワーク通信により受信可能であること。 ・ 専用パソコン上において再生・確認できること。
記録媒体	<ul style="list-style-type: none"> ・ 記録媒体は、パソコン内蔵のストレージであり、容量は 750GB 以上であること。
記録時間	<ul style="list-style-type: none"> ・ フレームレートを 1 秒当たり 3 ~ 5 コマで撮影 (受信) した場合、解像度 1280 × 960 ピクセルで概ね 1 ヶ月以上の連続記録が可能であること。
記録データのセキュリティ対策	<ul style="list-style-type: none"> ・ 記録データ保存形式は、画像受信部にインストールされた解析ソフトで再生可能であり、保存画像の改ざん検知が可能であること。
機能等	<ul style="list-style-type: none"> ・ リアルタイム映像及び録画映像について、拡大表示が可能で

	<p>あること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 録画映像において、1/16 ～ 128 倍速以上のスピードアップ再生及び逆再生が可能であること。 ・ 映像の上下反転等の設定が可能で、カメラ自体に回転の機能が無い場合でも異なるカメラ設置向きに対応出来ること。 ・ 録画中又は録画後の画像データを、任意に「動体」「人物・物体」検知エリアを指定して動体検知検索再生が可能であり、検知した場合は直ちにアラート通知すること。 ・ 保存したファイル及びフォルダは、時系列に自動整理されること。 ・ 静止画の保存先は画像受信部であること。 ・ 録画映像が異なる時間帯を並列して再生可能であること。 ・ ストレージ残容量が表示されること。
--	--

5 ソフトウェア

項 目	仕 様
通信状況の確認	<ul style="list-style-type: none"> ・ 通信状況を確認し、診断結果を表示可能なこと。 ・ 機器に異常箇所が検知された場合、ディスプレイに通知が可能であること。 ・ 異常を検知した場合、再起動を行う機能があること。
画像鮮明化	<ul style="list-style-type: none"> ・ 撮影後の画像データについて、被写体の明るさ調整、ノイズ除去、鮮明化の調整が可能な画像鮮明化ソフトウェアを備えていること。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ スタンドアローン仕様であること。 ・ 動画ファイルから物体や人物を検出可能であること。 ・ 自動保存された静止画は、日付で分類されること。 ・ 汎用動画ファイルから自動保存された静止画は、ファイル名で分類されること。 ・ ストレージの総容量、使用量、使用率を表示し、使用率が高くなった場合は、古いデータから上書きする。 ・ 汎用動画ファイルは、AVI、MOV、MP4、MKV、WMV 形式の動画ファイルに対応していること。 ・ 複数の汎用動画ファイルを一括選択し、連続再生が可能であること。 ・ その他、映像解析、被写体映像を収集及び解析することを容易にするソフトウェアがある場合は提案を行い、協議の上で追加費用無く機能を追加できるものとする。